

混声合唱団レッツ・スイング

創立20周年記念コンサート

レッツ・スイング指揮/ピアノ演奏 魚水愛子

去る10月22日、私が指導してまいりました混声合唱団レッツ・スイングの創立20周年コンサートを大宮レイボックホール(小ホール)にて開催いたしました。

混声合唱団レッツ・スイング創立20周年記念コンサート

指揮/ピアノ演奏:魚水愛子

ピアノ伴奏/演奏:坂田すみれ

プログラム 合唱

あの鐘を鳴らすのはあなた/ゴンドラの唄/無縁坂/時代
/荒城の月/銀色の道/知床旅情/長崎の鐘/勿忘
草をあなたに/Birthday/瀬戸の花嫁/大地讃頌 他

ピアノ演奏

ありがとう(連弾)/献呈/再会/あの日の言葉



コロナ禍で3年延期

このコンサートは本来2020年4月に開催予定でチラシやチケットまで用意しましたが、コロナの流行によりその時はやむなく断念いたしました。

コロナ禍での自粛について触れておきますと、公共施設が使用出来ない期間は活動は休止となりました。また、使用できるようになり活動が再開されても、人数制限があり、男声と女声と時間を半分ずつの交代制で練習せざる得ませんでした。現在は一緒に練習しておりますが、2時間ほどのレッスンの中、

以前は1回の休憩を、換気のために2回に増やしております。

嬉しい高齢者向けの曲探し

レッツ・スイングは「いきが大学浦和学園コーラス同好会」として21年前に誕生した混声合唱団です。現在は広く一般の方々にも参加していただいておりますが、発足当初は、「定年後の健康に良さそうだから歌でも始めてみよう…」という戦前生まれのコーラス未経験者がほとんどでした。



当初40名ほどいた中で、楽譜を読める方はほんの数名、簡単な2声に分かれて歌うだけでも大混乱という状態からの出発でした。そもそもの出発点がこのように世間様の合唱団とは違いますので、この『おんがく広場』で共感していただけるかどうか大いに疑問ですが、ひとつの節目として、この20年を振り返りつつ、少し書かせていただこうと思います。

レッツ・スイングのような超高齢者向けの混声合唱曲の選曲はいつも悩ましい課題です。リズムや音程、和声がお洒落な新しい作品より、団員の世代に良く知られている昭和時代の名曲がフィットします。また、音域も高音はF#までです。「大地讃頌」のG#は一瞬です。それ以上の高音が頻繁に出てくるような作品は却下です。今回のコンサートの選曲では、原調を低く移調させていただいたもの、リズムやパートを部分的に高齢者が歌いやすいように改編させていただいたものもあります。丁度良いものが見つからず、私自身で、あるいは伴奏ピアニストがレッツ・スイングの為に編曲した曲も3~4割ありました。

今回の20周年コンサートの選曲にあたり、団員たちがまず希望した曲が「大地讃頌」でした。平均年齢が優に80歳を超えておられる方々にとって、今回が最後の大きなステージだと感じていらっしゃるであろう中、一番歌いたいと言われた曲が「大地讃頌」でした。音楽と詩の基礎がゆるぎなくしっかりして

いるこの名曲が、人生を歌い上げる曲として団員に浸透していたことにあらためて感慨を覚えました。発足当時では考えられないことで、この曲の持つ音楽の力を実感させられました。また発足当初の、おのおのがカラオケのように声を張り上げるなかで喉の強い方の声が目立つというカオスのような発声状況も、20年を経てだいぶ変わりました。最近では、響きがだいぶ心地良くまとまるようになりました。合唱祭などで「柔らかく優しい歌声」などと高評をいただいた時には、自然な響きを模索しつつけてきた甲斐があったと大変嬉しく感じます。息のある限り、美しさは求められると確信しております。



さて、今回の20周年記念コンサートのテーマは「**全ての出会いに感謝を込めて**」でした。前後半それぞれ30分～40分のプログラムの中で、出演者全員が感謝の気持ちを胸に、

予定通り歌い上げることが出来ましたことに、団員の年齢と足腰を考え合わせホッとしています。団員の方々も終演後にご家族やご友人達に大変褒めていただけたようで、皆さん大変喜んでおられました。

さだまさしさんの「**Birthday**」のステージでは、事前に団員から集めた感謝のメッセージをいくつか朗読させて頂きました。「家族編」と「仲間編」があり、それぞれがジーンとくるメッセージでした。最後にそこから引用させていただきます。

歌声と共に歳を重ねて20年。まだまだ元気。友よ、歌よ、有難う！ 私も同じ気持ちです。

魚水愛子・プロフィール

都立芸術高校音楽科ピアノ専攻卒。武蔵野音楽大学器楽学科ピアノ専攻卒。二期会、辻正行音楽事務所にて伴奏を務める。



労音の第九伴奏の他、鎌田弘子氏主宰の合唱団にてピアノ伴奏を務め、声楽、室内楽、コーラス等のコンサートに多数出演。現在、アマチュアシニア合唱団指導者として、合唱団2団体を指導。魚水愛子ピアノ教室、ラジャーレ音楽企画主宰。ピアノを鈴木洋氏、松浦豊明氏、合唱指導を鎌田弘子氏。全日本ピアノ指導者協会会員。与野音楽連盟会員。大宮音楽家協会会員。

第9回全日本男声合唱フェスティバル in 松本

全日本男声合唱フェスティバルが2024年7月、6年ぶりに開かれます。2018年以来です。

●日程：2024年7月13日(土)～14日(日)

7月13日(土) 合同合唱の練習／交流会

7月14日(日) 各団体演奏／合同合唱演奏

●会場：キッセイ文化ホール(長野県松本文化会館)

●講師：伊東恵司、広瀬康夫、山脇卓也(合唱指揮者)

●合同合唱曲：

伊東教室：多田武彦「わがふるき日のうた」

広瀬教室：バーバー・ショッパ

山脇教室：木下牧子「駱駝の瘤にまたがって」

●参加資格：13・14日の両日参加できる男声合唱団

●申込期間：2023年10月2日(月)～11月30日(木)

●申込フォーム：<https://forms.gle/RQU1g6ZYvpq42nug6>

【合同演奏：個人参加募集】 合同合唱に参加する個人参加者の募集は、12月頃案内を掲載することとです。

●申込期間：2023年12月25日(金)～2024年1月31日(水)詳しくは全日本合唱連盟サイトをご覧ください。

<https://jcanet.or.jp/event/dansei/dansei-index.htm>

集れ！男声合唱

2024年
7/13(土)・14(日)
キッセイ文化ホール
(長野県松本文化会館)

講師
伊東恵司 広瀬康夫 山脇卓也

合同合唱曲
伊東教室 多田武彦「わがふるき日のうた」
広瀬教室 バーバー・ショッパ
山脇教室 木下牧子「駱駝の瘤にまたがって」

申込期間
2023年
10/2(月) - 11/30(木)

参加団体
大募集!!

全日本男声合唱フェスティバル in 松本
復活!!

主催：全日本合唱連盟、朝日新聞社